

1~4号機では燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■本号の内容

- 技能競技会が開催されました
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況

- 復興大バザールが開催されました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX

2025年12月1日 発行



かわうち草野心平記念館「天山文庫」 撮影時期:2025年11月 撮影場所:川内村



福島第二原子力発電所の
ホームページはこちらから
ご覧いただけます
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>



バックナンバーは
こちらからご覧いただけます
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/visual/magazine/>

技能競技会が開催されました

原子力発電所では、働く人や周辺の環境を守るために、厳重な放射線管理を行っています。10月8日、当社の放射線管理部門を対象とした技能競技会が開催され、働く人を放射線から守るために必要な技能を競い合いました。

◆技能競技会の概要

- ① 開催場所：柏崎刈羽原子力発電所（訓練施設）
- ② 参加者：福島第一・福島第二・柏崎刈羽原子力発電所に所属する放射線管理部門の社員（合計12名：2人／チーム × 6チーム）
- ③ 審査者：本社ならびに各原子力発電所の放射線管理部門等の管理職
- ④ 主な審査項目：
 - ・適切な作業計画・手順を組み立てられるか
 - ・装備品を正しく取り扱えるか
 - ・的確な除染作業を行えるか
 - ・制限時間内に安全かつ効率よく作業を行えるか



作業計画の打ち合わせ



装備品の装着



除染作業の様子

所員インタビュー

プロフィール

久重路 裕太（くじゅうろ ゆうた）

福島県富岡町出身／2010年入社

放射線安全部 廃棄物管理グループ所属

私生活では3児の父親として子育てに奮闘中の日々

お気に入りの場所：わんぱくパーク（富岡町）

休日の過ごし方：家族と食事処巡り／ソフトテニス



－普段はどのような業務に取り組んでいますか

原子力発電所から排出される空気中の放射性物質の濃度が、法律で定められた値を超えないように管理しています。

－競技会に参加した感想は

優勝はできませんでしたが、他の発電所員の技能を見ることにより、装備品の着脱や除染の方法等について、気づきを得る良い機会となりました。

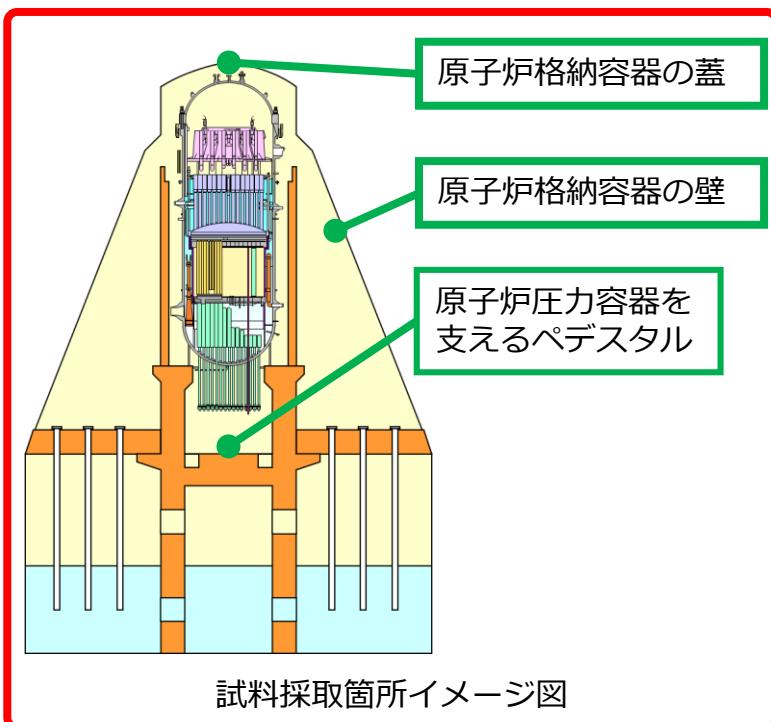
－地域の皆さんへ

今回の競技会で得た気づきを、今後の廃止措置で必要となる除染作業に活かしていきたいです。引き続き、廃棄物の管理を適切に行い、廃止措置が計画的に進められるように尽力していきます。

Q. 汚染状況調査の作業はどんなことをしているのですか？

A. 汚染状況を調査することで、作業員の被ばく低減に向けた除染計画の策定および解体撤去工事に伴って発生する廃棄物の発生量を把握し、人と環境に優しい合理的な廃止措置に努めています。

現在は、放射化汚染*状況の調査のため、4号機において原子炉格納容器の蓋や壁、原子炉圧力容器を支えるペデスタルから試料（コンクリート・鋼板）採取をおこなっています。



* 放射化汚染：原子炉運転中に照射された中性子の影響により、構造材自体が放射性物質に変化しておこる汚染。

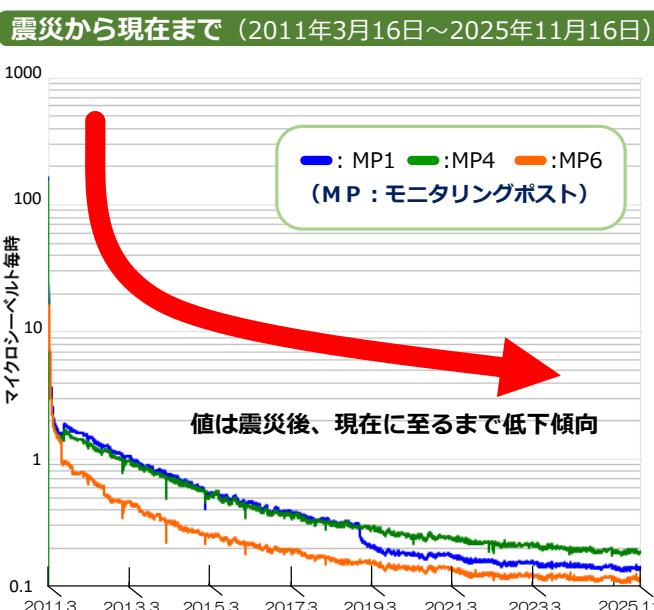


発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)
2025年11月16日 時点

0.07 [MP7] ~ 0.21 [MP3]
値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター)	0.13	楢葉町 (役場)	0.07
広野町 (役場)	調整中	川内村 (役場)	0.05

出典：福島県放射能測定マップ（市区町村別線量率一覧）より（2025年11月16日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30°Cで安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

復興大バザールが開催されました

11月12日、本社にて「復興大バザール（販売会）」が開催されました。本イベントは東日本大震災以降、継続的に行われており、95回目となります。

今回の販売会は、当発電所も連携して富岡町・楢葉町・川内村の特産品をはじめ、多くの福島県産品を販売しました。

今後も、地域の特産品や魅力を発信する取り組みを継続してまいります。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧いただき、ありがとうございます。

今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりなどの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

編集後記

企画広報グループに着任してから、5ヶ月が経過しました。今回の広報紙では、技能競技会の原稿を担当しましたが、いかがでしたか。今後とも「難しいことをやさしく」をモットーに、広報紙の作成に取り組んでまいりますので、引き続き、ご愛読よろしくお願ひいたします。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,428人※です。(2025年10月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約800人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	342人	1,837人	2,179人(約90%)
県外	67人	182人	249人(約10%)
合計	409人	2,019人	2,428人(100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全第一で廃止措置を進めてまいります。

東京電力ホールディングス株式会社 公式アカウント



[Facebook.com/OfficialTEPCO](https://www.facebook.com/OfficialTEPCO)



[@OfficialTEPCO](https://www.x.com/OfficialTEPCO)

編集発行責任者 :

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時~午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)